

爲霜雪從地升也。按大戴禮曾子天圓篇陽氣勝則散爲雨露陰氣勝則凝爲霜雪。太平御覽引大戴禮作「天地積陰温則爲雨寒則爲雪論衡說日篇夏則爲露冬則爲霜温則爲雨寒則爲雪雨露凍凝者皆由地發不從天降也皆卽此事並以陽對陰以温對寒而此以陽對寒必有一誤依北堂書鈔初學記太平御覽所引作寒氣知寒字非誤然則陽温字形相似而譌也雨水亦雨露之誤

〔類聚名義抄〕雪音切ユキ 霽正

〔撮壤集〕雪天象 三白リククラ 六花リクシユツ 滕六トウリク

〔日本釋名〕雪天象 やすくきゆる也やすのかへしはゆ也きゆるの下を略す

〔東雅〕雪天文 ユキ 義不詳舊說に上古の語にユキといひしは潔齋の義なるなり雪またユキといふ事も皎潔の義なりといふ古語にユキといひユキといふこととは相轉じていひけり齋の字讀て今キヨシといふ詞なりユの音を開きて呼ぶ時はキヨといひユキといふ音は轉じてシとなるが故なり凡物の色白きは潔きものなれば古語に其色の白きもの多きはユといひけり雪露又木綿繭などの如きこれなり雪をユキといふユとは白きなりキとはケの轉にして消なり其色白くして消ゆるなりといふ説の如きはいがあるべき

〔和漢三才圖會〕雪天象 霽音切 雪古文 左傳云平地尺爲大雪和名由岐

論衡云夏爲露冬則爲霜温則爲雨寒則爲雪雨霧凍凝者皆由地發不從天降韓詩外傳云凡草木花多五出雪花獨六出朱子云地六水之成數雪者水結爲花故六出○中略 按冬則日行天之南陸故北地愈寒也本朝如信越賀與羽之北國雪多而越州最爲勝雪積蔽屋棟出入無便每秋收貯衣食薪鹽以待春也其雪中家却暖也凡雪降之翌日必暖也

〔八雲御抄〕雪三上 雪天象 みゆき行幸御幸をもち はつはつ あはあは 冬のはじめつかつかた春の雪也但万八に十二月に 色色 きえす万 玄玄 づづ

也 友待 はたれなりかたひら おほくつ けの こりの色 きえす万 玄玄 づづ

り木雪 万にそら より雪ながれくる梅事 雪けはまことの雪氣をいふ又た 雪のふるをも

いふ 万雪消とかけり 万十七に光といへり あはゆきなどをば玄き とよめる也 万